

学校 教育 目 標	★①自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします【知】 ②自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします【徳・体】 ③共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします【公・開】 [具体的な取組目標] ①学習の基礎・基本を身に付け、それらを基に活用・探究していく学習力を養うと共に、自立的に学び続ける意思を育みます。 ②生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育みます。 ③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育みます。				
	学校概要 創立 36 周年 学校長 赤堀 貴 副校長 伊藤純子 2 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 2 児童生徒数: 533 人 主な関係校: 南戸塚小学校 下郷小学校 (小雀小学校) (千秀小学校)				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
★〈言語能力〉〈情報活用能力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈健康・安全・食に関する力〉	南戸塚中 南戸塚小 下郷小	他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども ・合同研修会を活用し、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図る。 ・公開授業を通じて、保護者や地域の方々の意見を交えながら、資質・能力の育成を図る。 ・合同授業研究会を通じて、育成の方策が効果的となっているかを検証する。

中期 取 組 目 標	○「チーム南戸塚」として組織的な学校運営を行い、「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒、保護者、地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた改善を重ねます。 ・生命を大切にすることを第一に考えた、安心、安全な学校づくりを目指します。(体) ・いま求められる力を理解し、参加型の授業を実践しつつ学力向上に努めます。(知) ・主体的な活動を支援し、自尊感情を高めます。(徳)
------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
安全管理の徹底 担当 保健指導部	・災害時や事故発生時にすべての職員が自主的に動き対処できるよう研修をすすめる。 ・学習環境を整備し、安全で快適な学校生活を送れるようにする。 ・感染症に関する共通の知識理解を職員間で持ち、適切な行動ができるよう研修を重ねる。
授業改善 担当 学習指導部・教科会	・学習指導要領の趣旨に基づく実践方法や、効果のあった学習形態などについてのまとめを教科ごとに作成し、研修会で発表し、相互に研究を深める。特に情報端末機器の利用について研修を積む。 ・教科横断的に取り組む内容を再構成し、「総合的な学習の時間」の充実を図る。従来のキャリア教育のほかに、柱となる取り組み実践を積み上げていく。
主体的な 生徒活動 担当 特活指導部	・社会参画の態度を育てるために、より多くの生徒が活躍できる場面をつくるとともに課題解決のために話し合い、主体的に考える活動を充実させます。 ・社会貢献の態度を育てるために、校内でできるボランティア活動などを企画し、参加しやすい体制を整えます。また、地域と触れ合う機会として、自ら発信する行動を起こします。
受容型生徒指導 担当 生徒指導部	・定期的な生活アンケートの実施や教育相談の充実で生徒理解を深め、家庭との連携を密にする。アンケートの集約・事後指導の徹底。 ・授業、休み時間、昼食時、廊下、保健室等で積極的に生徒たちの輪、会話に入っていく。 ・不登校生徒・保護者との相談活動を充実させ、必要に応じて他機関と連携する。 ・特別支援を要する生徒を把握し、特別支援教育校内委員会(企画会)と連携していく。
教育課程の編成 担当 全職員	2021: 各教科の評価規準にもとづいたカリ編制の実践 計画通り教育課程を行うことと、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程となっているかをまとめごとに検証し、さらに研修会を開催し理解を深める。
いじめへの対応 担当 専任・生徒指導部	①生徒アンケートを定期的実施し(年4回)、教育相談の場において、傾聴・受容的姿勢で臨む。 ②日常的な生徒との対話を大切にし、基本的なかかわりをていねいに行う。 ③家庭連絡や懇談会での保護者への対応を重視し、保護者の考えや意見等の発信を丁寧に聞き取り、全職員で共有する。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 企画運営会	①新組織の部門の目標を明確にし、年2回の振り返りを組織の修正に活かす。 ②部門会議開催前に課題を明確にし会議に臨む。会議時間を短縮し、生徒と向き合う時間を多くする。 ③研究授業、校内研修、メンター研修等を意図的につなげ教師力の向上を目指す。 ④閉庁日、留守番電話の設定を進め、年休取得の日数を昨年を上回る日数とする。また超過勤務時間も昨年度より削減する。